



城東図書館 2024年8月16日～9月18日実施

まちのひと 藤原 優さんの紹介本リスト

小学校読み聞かせボランティア

窓ぎわのトットちゃん 黒柳 徹子/著 講談社

教育は20年先をみて行うものという考えのもとに、子どものすばらしい才能を信じ、自分にしかできないことを見つける手助けをする教育者と子どもたちのお話です

れんげ荘 群 ようこ/[著] 角川春樹事務所

元キャリアウーマンが仕事や人間関係につかれ、貯金だけで最低限の生活をするお話です。生き方は色々、ひとつではないという考えが面白い。

仮想儀礼 篠田 節子/著 新潮社

架空の宗教団体の誕生から破滅までの物語です。宗教は個人で信じる分には問題ないが、組織や団体になると、教えより組織拡大に向かい、それがこわい。

ゼロからの『資本論』 斎藤 幸平/著 NHK出版

資本主義の「危機」「限界」が指摘される中、多くの人が生活に苦しんでいます。この社会以外にもっとより良い社会はないのか、そういうものを求めている人に必見の書です。

健康で文化的な最低限度の生活 柏木 ハルコ/著 小学館

これは、漫画です。

新人ケースワーカーの目を通して、生活保護のリアルに迫る青春群像劇。題名は日本国憲法第25条第一項の条文「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」から採られています。

沈まぬ太陽 山崎 豊子/著 新潮社

日本航空で実在した労働組合役員の史実に基づいて脚色、再構成されたフィクション社会派作品です。現実問題として、大企業の不正行為が色々問題になっています。労働組合はどうあるべきか考えるべきじゃないでしょうか。

悼む人 天童 荒太/著 文藝春秋

悼む人にかかわる三人を軸として、悼む人の必要性、目的、人間の死生観などを浮き彫りにした作品です。

表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)

転載等の際は“大阪市立城東図書館「まちのひと文庫」推薦文”との表記を入れてください

大阪市立城東図書館
大阪市城東区中央 3-5-45 06-6933-0350
<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>